

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 19日	
東京都知事 殿	提出者 住 所 東京都品川区東大井5丁目24番18号
Ark301	氏 名 株式会社植田建設 東京支店長 植
田 力康	(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-6712-1042
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	都内各所（八王子市を除く）
事業場の所在地	都内各現場（八王子市を除く）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 2億1,481万円（前年度実績）
③従業員数	9人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 2 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	排 出 量	0.77 t	0.30 t
	(これまでに実施した取組)		
	・工法の改善 ・実寸発注の実施 ・工事における産業廃棄物の削減 ・資源の再利用 ・余剰剤の引き取り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	排 出 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	・これまでの取り組みを継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くずの分別。また石綿含有廃棄物についても他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記に加え石膏ボード、金属くず、紙くずについても分別を実施していく		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	37.80 t	50.06 t	3,490.01 t	65.60 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	35.00 t	50.00 t	3,300.00 t	50.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	457.36 t	49.08 t	383.44 t	6.52 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	400.00 t	40.00 t	350.00 t	5.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排 出 量	145.31 t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排 出 量	140.00 t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	0.77 t	0.30 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 処理業者を定期的に視察 ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	37.80 t	50.06 t	3,490.01 t	65.60 t
優良認定処理業者 への処理委託量	17.68 t	45.70 t	12.80 t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	37.80 t	50.06 t	3,490.01 t	65.60 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)－3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
全処理委託量	457.36 t	49.08 t	383.44 t	6.52 t
優良認定処理業者 への処理委託量	22.40 t	34.28 t	204.45 t	3.28 t
再生利用業者への 処理委託量	457.36 t	－ t	383.44 t	6.52 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
全処理委託量	145.31 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	56.81 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	38.45 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	- t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・ 処理業者には定期的に実地確認を実施する ・ 可能な限り優良認定処理業者から選定する ・ 電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する		
※事務処理欄			

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
	全 処 理 委 託 量	35.00 t	50.00 t	3,300.00 t	50.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	20.00 t	45.00 t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	35.00 t	50.00 t	3,300.00 t	50.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
	全 処 理 委 託 量	400.00 t	40.00 t	350.00 t	5.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	220.00 t	4.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	400.00 t	- t	350.00 t	5.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
	全 処 理 委 託 量	140.00 t	- t	- t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	60.00 t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	40.00 t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

・コンクリート破片 ・廃アスファルト ・レンガ破片など	生処理業者に委託(破碎)→再生砕石として再資源化
・ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	処理業者に委託(破碎)→再生・管理型埋立
・建設混合廃棄物	処理業者に委託(破碎・圧縮)→安定型埋立・管理型埋立
・石綿含有建設混合廃棄物	処理業者に委託(安定型埋立・管理型埋立)
・木くず	処理業者に委託(中間処理 破碎・切断)→チップとして再資源化
・廃プラスチック	処理業者に委託(中間処理 破碎・切断)→固形燃料として再資源化
・繊維くず	処理業者に委託(中間処理 破碎・圧縮)→固形燃料として再資源化・焼却
・紙くず	処理業者に委託(破碎)→再生発電
・建設汚泥	処理業者に委託(脱水・焼却)→再生・管理型埋立
・廃油	処理業者に委託(中間処理 油水分離・固化)→再資源化

*別紙2

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		本社 代表取締役
廃棄物担当		組織名： 東京支店長
	環境管理委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長 代表取締役社長 ・委員 東京支店長 ・事務局 本社総務部
	統括責任者廃棄物処理	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	東京支店長	○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育、啓発 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織図

